

Title	ビックデータ分析の活用による高齢者のQOLの評価及び向上の研究： 全国食品スーパーのID付POSデータの分析から
Sub Title	
Author	森, 真人(Mori, Masahito) 林, 高樹(Hayashi, Takaki)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2015
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2015年度経営学 第3103号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002015-3103

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2015 年度）

論文題名

ビックデータ分析の活用による高齢者のQOLの評価及び向上の研究
ー全国食品スーパーのID付POSデータの分析からー

主 査	林 高樹 教授
副 査	中村 洋 教授
副 査	山本 晶 准教授
副 査	住田 潮 特任教授

学籍番号	81431207	氏 名	森 真人
------	----------	-----	------

論文要旨

所属ゼミ	林 高樹 研究会	学籍番号	81431207	氏名	森 真人
(論文題名) ビックデータ分析の活用による高齢者のQOLの評価及び向上の研究 ー全国食品スーパーのID付POSデータの分析からー					
(内容の要旨) 日本のマクロ面での最大の課題の一つは、「少子高齢化」である。支援を必要とする高齢者は増加するものの、この高齢を支える家庭と地域の力は低下傾向となっていることは、政府の地域包括ケアシステムにおいて取り組んでいる重要課題である。 そこで本論文は、ビックデータ分析によって、このような社会問題解決を図ることを目的として、ID付POSデータの情報による前期高齢者のQOL指標を開発し、その評価及び向上策を考察した。 研究対象として、経営科学系研究部会連合協議会主催の2015年度データ解析コンペティションにおける全国食品スーパーのID付POSデータを用い、実証研究を行った。全国食品スーパー975店舗の2年間（FY2013・2Q～FY2015・1Q）のビックデータを統計的な手法を用いて分析し、ミクロな構造を可視化した。 特に前期高齢者（65歳以上75歳未満）をクラスタリングし、事実に即した購買行動を分析した。また、この購買行動分析をさらに発展させ、食品スーパーの視座に立って、高齢者クラスターの推移確率をモデリングし、マルコフモデルの適用を図り、LTVを測定した。さらに、顧客の離脱防止に関わる具体的なビジネス施策を考察するとともに、食品スーパーへのインタビュー調査を実施することによって実証研究を行った。					